

I 類 B

専 門 問 題

令和 8 年 5 月 施 行 職 員 採 用 (保 健 師)

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は全部で **14 題**あり、ページ数は **16 ページ**、試験時間は **1 時間 10 分**です。
- 2 択一問題については、選択肢（1～4）の中から正答を一つ選び、その番号を解答用紙【択一】に記入してください。
- 3 記述問題については、解答を解答用紙【記述】(A、B) に記入してください。
- 4 この問題用紙は、持ち帰ることができます。



保健師活動における ICT の活用に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 保健師が管理する PHR（パーソナルヘルスレコード）へアクセスし、健康に関する相談者のデータを予め準備をしたうえで相談を行う。
- 2 ICT を活用した相談支援のメリットとして、SNS やメールなど既存のツールを活用することで、利用者を限定することなく相談支援を行うことができる。
- 3 仲間づくり支援のグループづくりでは、グループのメンバー同士が直接会ってコミュニケーションを図ることが重要であるため、ICT の活用は行わない。
- 4 他職種がかかわる対象者のケア方針を検討する会議において、オンラインで支援者同士をつなぎ、意見交換の場として活用する。

保健師が行うアセスメントに関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 対象者の社会生活を総合的に捉え、問題点やニーズを評価・分析することをねらいとする。
- B 複数の分野で多面的な支援が必要な場合には、チームとしてアセスメントを実施することもある。
- C フォローアップ中に対象者のニーズ変化や、サービスが合わないと判断した場合も、初回のアセスメントを採用する。
- D 対象者の困っていることや望んでいることに焦点を当て、十分な情報が集まってからアセスメントを実施する。

1 AとB 2 AとD 3 BとC 4 CとD

平成 25 年 4 月 19 日付「地域における保健師の保健活動について」（厚生労働省健康局長通知）に示されている「保健師の保健活動の基本的な方向性」10 項目について、正しい組み合わせを選びなさい。

- ①地域診断に基づく PDCA サイクルの実施
- ②個別課題から地域課題への視点及び活動の展開
- ③ の重視
- ④地区活動に立脚した活動の強化
- ⑤ の推進
- ⑥ に応じた健康なまちづくりの推進
- ⑦ 保健活動の連携及び協働
- ⑧地域のケアシステムの構築
- ⑨各種保健医療福祉計画の策定及び実施
- ⑩人材育成

- 1 A 予防的介入 B 地区担当制 C 地域特性 D 部署横断的な
- 2 A 治療的介入 B 地区担当制 C 個別特性 D 専門性を発揮した
- 3 A 予防的介入 B 業務担当制 C 地域特性 D 専門性を発揮した
- 4 A 治療的介入 B 業務担当制 C 個別特性 D 部署横断的な

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による入院に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 精神障害者が入院する場合、本人の同意に基づく任意入院と家族の同意に基づく医療保護入院が原則である。
- 2 措置入院は、自傷他害のおそれがあると認められた精神障害者を、1人以上の精神保健指定医が診察した結果、指定の医療機関に入院となる。
- 3 緊急措置入院は、自傷他害のおそれが著しく、正規の手続きを直ちにとることが難しい場合に、精神保健指定医1名の診察で72時間以内を限度に行う入院である。
- 4 応急入院は、急速を要する入院が必要だが家族等の同意が得られない場合に、精神保健指定医の診察により48時間以内を限度に行う入院である。

医療的ケアが必要な障害児への支援に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 医療的ケア児は、長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、医療的ケアが日常的に必要な子どもで、独歩が可能となると該当しない。
- 2 平成 28 年の児童福祉法の改正で、地方公共団体は医療的ケア児の支援に関する保健、医療、障害福祉、保育等の連携の一層の推進を図るよう努めることとされた。
- 3 障害者総合支援法や児童福祉法の基本理念を踏まえた障害児福祉計画の作成は都道府県のみ義務付けられたため、市町村が障害児福祉計画を策定する必要はない。
- 4 平成 28 年度診療報酬改定において、通所サービスを含めた医療的ケア児等の受入れの体制が充実している外来医療機関の評価が引き上げられた。

脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く）に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 我が国に比較的多い神経難病の一つであり、人口 10 万人あたり 2～3 人の患者がいるとされている。
- 2 小脳症状のみが目立つもの（純粹小脳型）と、小脳以外の病変や症状が目立つもの（多系統障害型）に大別され、孤発性より遺伝性のほうが多い。
- 3 頭部 MRI や CT にて、小脳や脳幹の萎縮を認めることが多いが、病型や時期によっては大脳基底核病変や大脳皮質の萎縮などを認めることもある。
- 4 孤発性は高齢発症で進行が早く、予後不良であるが、遺伝性は進行が遅く、比較的予後良好である。

腸管出血性大腸菌感染症に関する次の記述の空欄に当てはまる語句として、正しい組み合わせを選びなさい。

腸管出血性大腸菌感染症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法）の〔A〕感染症であり、診断後、医師は〔B〕最寄りの保健所へ〔C〕を提出する。

保健所は、〔C〕を受領後、患者に対し、感染源探索と感染拡大防止目的で感染症法第15条に基づく積極的疫学調査を行う。

- 1 A 五類 B 7日以内に C 発生届
- 2 A 三類 B 7日以内に C 検査結果
- 3 A 三類 B 直ちに C 発生届
- 4 A 五類 B 直ちに C 検査結果

地域保健と職域保健の連携に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 地域保健と職域保健の連携では、地域の実情を踏まえ、地域・職域連携調整会議等で地域課題を明確にした上で、ハイリスクアプローチを強化することが重要である。
- B 地域保健と職域保健が連携することにより、労働者の働き方の変化やライフスタイルの多様化に対応した保健サービスを提供することができる。
- C 地域保健及び職域保健が連携し、互いに保有する健康に関する情報を共有・活用することにより、地域全体の健康課題を明確にすることができる。
- D 地域保健と職域保健の連携強化のためには、健康課題解決の必要性等をデータで示すことが必要であり、その仕組の構築は十分整っている。

- 1 AとB 2 BとC 3 CとD 4 AとD

東京都保健所の災害対応に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 災害による負傷者の診察やトリアージのため緊急医療救護所を設置した。
- 2 人工呼吸器を装着した難病患者の避難のために福祉避難所を開設した。
- 3 保健所に作成義務のある避難行動要支援者名簿を活用し安否確認を行った。
- 4 被災市町村の求めを待たずに保健所職員が保健医療ニーズの分析を行った。

保健師としての専門性の獲得に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A キャリアラダーとは管理職保健師のみに適用し、保健師の管理的活動において求められる能力をレベル設定したものである。
- B キャリアパスとは保健師として成長するプロセスにおいて、どのような経験が必要かを踏まえた業務配置のことである。
- C 自らの業務経験や研修受講歴を記録した人材育成シートを作成しておくことは専門性の獲得の確認のために有効である。
- D 保健師としての成長や力量形成は専門性の高い分野のため統括保健師が対応する事項であり人事部門との連携は不要である。

- 1 AとB 2 BとC 3 CとD 4 AとD

スクリーニングに関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 症状や兆候がある人に対し、識別を目的として行われる検査である。
- 2 特定の検査や標準的な手段により、介入が必要な対象を見つけ出す予防策である。
- 3 疾病の早期発見と早期治療を目的とした一次予防の中に含まれる。
- 4 一般の健康診査と同じく、健康状態のレベルを知る目的で行われる。

医療計画において定めている内容について、正しいものを選びなさい。

- 1 5 疾病とは、広範かつ継続的な医療の提供が必要と認められる疾病であり、がん、脳卒中、心筋梗塞などの心血管疾患、結核、精神疾患をいう。
- 2 救急医療、災害医療、慢性医療、へき地医療、周産期医療、小児医療の 6 事業に加え、在宅医療についても定めることとされている。
- 3 都道府県が地域の実情に応じた医療計画を策定することとされており、地域の体系的な医療提供体制を確保するための行政計画である。
- 4 都道府県が 10 年ごとに医療計画を作成しており、5 疾病・6 事業および在宅医療のそれぞれにかかる医療体制などが記載されている。

1 「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」において明記されている難病の4つの条件について、次の記述の空欄に適切な語句を記入しなさい。

①の機構が明らかでなく、②が確立していない、③疾患であって、④を必要とするもの

①	
②	
③	
④	

2 Aさん（60歳、男性）は、通勤中の転倒やしゃべりにくさが出現し、2カ月前に筋萎縮性側索硬化症（ALS）の確定診断を受けた。

通院している医療機関の医療相談員から保健所へ連絡が入り、Aさんが症状の進行や今後の生活への不安を訴えているため、保健師の支援をお願いしたいとのことだった。

Aさんの家庭訪問をするにあたり、初回訪問に必要なアセスメント項目について、あなたが優先順位の高いと考えられるものから3つ記入し、また各アセスメント項目の内容を2つずつ簡潔に答えなさい。

	アセスメント項目	内容
例	地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・家の周辺環境や居住地域の環境 ・医療機関・保健福祉施設へのアクセス
①		<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
②		<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
③		<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

※優先順位の高いと考えられるものから順に、①、②、③の順番で記載しなさい。

解答は、解答用紙 A に記入すること。

1 「地域における健康危機管理について～地域健康危機管理ガイドライン～」に述べられている健康危機管理の4つの側面に関して、次の記述の空欄に適切な語句を記入しなさい。

保健所における健康危機管理の実際の業務は、対策の内容により、以下の4つの範疇に分けて整理することができる。

すなわち、「健康危機の発生の〔①〕」、「健康危機発生時に備えた〔②〕」、「健康危機への〔③〕」、「健康危機による〔④〕」であり、これらは健康危機管理業務の〔⑤〕となる。

①	
②	
③	
④	
⑤	

2 日本国内で新たなウイルスによる感染症が発生しました。感染力が強く、病態がまだ不明で、基本的な感染症対策が有効かどうか分からない状況です。

あなたの勤務する保健所管内でも感染者が発生しはじめ、保健所は健康危機発生と判断しました。

健康危機発生時の保健所の対応とそれに伴う保健師活動について、3つ答えなさい。

	保健所の対応	保健師活動
例	情報収集	発生動向の確認
①		
②		
③		

解答は、解答用紙〔B〕に記入すること。

【 メ モ 】

【 メ モ 】



